

年頭のあいさつ



雲南広域連合長
公立雲南総合病院組合管理者
雲南消防組合管理者

速水 雄一

新年あけましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた新年をお迎えることお慶び申し上げます。雲南広域連合は、本年四月に雲南消防組合、雲南環境衛生組合と再編統合を行い、ひとつになります。今後も、住民サービスの向上に向けて努力して参りますので、よろしくお願い致します。

まず、雲南広域連合における広域的な地域振興事業でございます。本年は雲南広域連合の運営のマスタープランであります「雲南広域連合広域計画」を策定することとしております。この計画の中で、広域行政のあり方についての基本方針を次の三つとし、二つ目はこれまでの一市二町の枠組みを維持すること、二つ目には従来からの広域連合の基本理念である「ゆうきの里 雲南」を継承すること、三つ目にはふるさと市町村圏振興事業基金の運用益を活用し、ソフト事業を実施することとしました。今後も構成市町と連携を図りながら、計画の実行に取り組んで参ります。

また、平成二十四年の古事記編纂千三百年、平成二十五年の出雲大社

平成の大遷宮を機に、島根県では、神話のふるさと「島根」推進事業が始まりました。古事記の神話部分に書かれているヤマタノオロチ伝説は、雲南地域が舞台となつています。雲南地域に訪れた方々に好印象を持っていたら、リピーターになつていただけるようプロジェクトを推進して参ります。

次に、介護保険事業でございます。今年は、第五期介護保険事業計画の策定を控えており、第五期計画では、急速な高齢化の進展による独居高齢者、認知症高齢者の増加や高齢者像と地域特性の多様化等、高齢者の保健医療・福祉をとりまく環境の変化等に適切に対応し、高齢者が要介護状態になつても、可能な限り住み慣れた地域で継続して生活できるよう、介護・予防・医療・生活支援サービス・住まいの五つを一体的に提供していく「地域包括ケア」の考え方に基づいて計画策定をする必要があります。

このため本年一月に、六十五歳以上の第一号被保険者の方を対象に、抽出により日常生活圏域ごとに二ス調査を行い、基礎資料とすることとしていきますので、協力をお願いいたします。

公立雲南総合病院は四月一日から、「雲南市立病院」と衣替えします。新たに事業管理者を選任し、より機動性の高い組織運営が期待されるところであります。また、昨年四月から松井新院長のもと組織体制強化を図るとともに、院内への住民の皆さんの手作り作品の展示やボランティアさんによる車椅子介

助開始など、より親しまれる病院の雰囲気作りに努め、入院・外来患者さんの減少対策に少なからず成果を上げつつあるのではと思います。

昨年度設置した「地域医療人育成センター」では子供たちに医療現場の体験をしてもらったため、今年度は中・高校生約三十名と研修医十名が雲南病院で貴重な体験を積んでいます。

医師・看護師不足に対しては地域推薦枠や奨学金制度の充実により、四月からは新卒の看護師数名の就職も内定しています。また、地域連携では雲南医師会の事務所を十一月より院内に開設し、オープンベッド導入などにより強い連携へ取り組んでいます。更に、総合診療を目指す医師の研修育成の場を提供することを目的に、島根大学と連携し、昨年十二月から「地域総合診療科」を開設しました。

一方、職員教育の「環・意識改革」につなげるため、全職員によるQC活動（改善活動）の取組みを始めています。また、今年度の発表大会を計画しており、今後、病院の「考える文化」の醸成につなげていくことを期待しているところであります。

新年度は電子カルテの導入を控えており、将来的には病棟の改築という大きな課題がある中、「患者さんにとってふさわしい医療の提供」を基本に、高齢社会を見据えながら高度専門的医療機関との連携を図り、高齢者中心の慢性期医療と福祉の連携を中心に、住民の皆さんと一体となつてこの地域にふさ

わしい病院のあり方を検討してまいりたいと考えています。

雲南消防組合につきましては、全国的に集中豪雨災害や竜巻が発生した昨年、幸いにも管内で大きな災害は発生しませんでした。災害は何時やってくるかわかりませんが、消防関係機関が連携を密にして、更なる防災体制の強化を図りたいと存じます。

昨年の火災件数は二昨年に比べ減少していますが、依然として建物火災の発生比率が高いのが現状です。この建物火災から人命を守るため、皆様には、今年五月末までの設置期限となつていきます住宅用火災警報器の早期な取り付けをお願いするものです。

また、救急搬送も年間二千件を超え、その約三分の一が管外病院への搬送となっております。平成二十三年度、島根県が導入予定であります「ドクターヘリ」の有効利用について、関係機関と更に協議を重ねて参ります。

昨年七月に、総務省消防庁の全面的な協力を得て「119番位置情報通知システム」を運用開始したところでありますが、今後、更に平成二十八年五月末までに整備しなければならぬ「消防救急無線デジタル化」につきましても、関係者の皆様と鋭意努力し準備を進めたいと考えています。

今後とも、雲南地域の広域行政を担う雲南広域連合、雲南総合病院組合、雲南消防組合に対し、二層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして、年頭のあいさつとします。

新春のご挨拶



雲南広域連合議会
議長 藤原政文

新年あけましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた新年をお迎えることと雲南広域連合議会を代表してお慶び申し上げます。

昨年十二月に雲南広域連合議会議長に就任しました藤原政文です。雲南地域の振興と発展に努力してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

さて、昨年は「龍馬伝」や「ゲゲゲの女房」の主人公が幾多の困難に対して、強い信念をもつて自らが信じる道を切り開く姿が、現代の不透明な時代を生きた多くの人々の共感を呼び好評を博しました。

また、国内においては、所在不明の高齢者問題の発覚、大阪地検特捜部主任検事証改ざん事件など、「正義」と「良心」を問われた二年でもありました。

現在、国では地域のごとは地域に住む住民が責任を持つて決めることのできる活気に満ちた地域社会をつくることを目指して「地域主権改革」が進められています。雲南広域連合議会におきましても、地方分権、地域主権により「自己決定、自己責任」が求められ、議会の役割がより重要になってきています。

本年は、雲南広域連合と雲南消防組合、雲南環境衛生組合がひとつになり、新たな雲南広域連合がスタートする年となります。再編統合の基本方針であります総経費の抑制を図りながら、安定的な業務運営の確保と住民サービスの向上が図られるよう議会としても働きかけて参りたいと考えております。

本年も、皆様のご期待に応えられるよう一生懸命努力する所存でありますので、二層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

雲南地域の発展と皆様のご多幸・ご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

議会報告

平成22年第2回 雲南広域連合議会臨時会

平成22年11月26日、平成22年第2回雲南広域連合議会臨時会を開催しました。今回の議会には次の議案を提出し、原案通り可決されました。

議決された事項

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告及び島根県人事委員会報告に基づき、職員の給与と条例を改正しました。

